

第91回広島大学経営協議会議事要録

日 時 令和5年1月26日(木) 13時00分～13時35分

場 所 広島大学法人本部棟5F1会議室・ZOOM (WEB会議)

出席者 学外委員：岡島， 荻田， 國井， 郷， 白石， 杉村， 佃， 結城の各委員
学内委員：越智， 宮谷， 金子， 佐藤， 安倍， 田中， 俵， 藤田， 上重の各委員

欠席者 学外委員：山西， ラリー・マイクスナーの各委員

列席者 工藤上席副学長， 小澤副学長， 岩永副学長， 津賀副学長， 棚橋副学長， 田原副学長， 大段副学長， 神谷副学長， 渡辺副学長， 犬丸副学長， 小林副学長， 西村副学長， 丸山副学長， 栗栖監事， 土屋学長参与， 竹内学長補佐， 土肥学長特命補佐， 相田学長特命補佐， 相原学長特命補佐， 藤原学長特命補佐， 小林学長特命補佐， 林副理事， 由井副理事， 長谷川部長， 堀田副理事， 迫田副理事， 川合副理事， 浦川副理事， 南部長， 三代川副理事， 槇原副理事， 佐々本部長， 村上部長， 新本部長， 石田副理事， 山内副理事， 長谷川副理事， 倉本部長， 加藤部長， 西村部長， 河村部長， 山下部長， 畑尾室長， 寺田部長， 小松崎GL， 中神室長， 友澤文学部長， 永山法学部長， 鈴木経済学部長， 黒岩理学部長， 栗井医学部長， 谷本歯学部長， 菅田工学部長， 島田生物生産学部長， 土肥情報学部長， 田代原爆放射線医科学研究所長， 山崎評価委員会委員長

※ 以下， 発言内容は， ○：学外委員， ◇：学内委員を示す。

(第90回広島大学経営協議会議事要録について)

令和4年11月17日開催の経営協議会議事要録について， 原案のとおり承認された。

(議事1)

● 第4期中期計画の変更について

(越智学長提案・説明， 別紙1)

◇ 経済産業省「ワクチン生産体制強化のためのバイオ医薬品製造拠点等整備事業」への採択， 教育組織の設置， 入学定員の変更及び統合生命科学研究科附属臨海実験所の教育関係共同利用拠点の認定に伴う， 中期計画に係る記載事項の変更を行うことについて提案。

以上の提案・説明があり， 審議の結果， 原案のとおり承認し， 役員会へ付議することとした。

(特に質疑応答なし)

(議事2)

● 国立大学法人広島大学の年度評価実施要領について

(越智学長提案・説明， 別紙2)

◇ 第4期中期目標期間においては， 中期目標・中期計画の着実な達成のため， 「令和4年度(第4期中期目標期間)以降の広島大学の評価制度の基本方針」(令和3年12月27日役員会承認。)に基づき， 本学が独自に策定した各事業年度の計画について， 評価委員会による全学的な自己点検・評価を実施し， 自律的なPDCAサイクルを構築することとしており， 評価委員会で審議した「国立大学法人広島大学の年度評価実施要領」について提案。

以上の提案・説明があり， 審議の結果， 原案のとおり承認し， 役員会へ付議することとした。

次の質疑応答が行われた。

- ・国の意向も踏まえた合理的な実施。

(議事3)

● 役員の在職期間に係る退職手当における業績勘案の審議方法について

(越智学長提案・説明, 別紙3)

- ◇ 国立大学法人評価委員会による毎年度の「業務実績評価」が令和4年度から廃止となったことに伴い、本学の役員退職手当規則を改正したため、役員の在職期間に係る退職手当における業績勘案の審議方法について見直しを行うこと、併せて、在職期間中の期末手当の業績勘案率の決定方法に準じて、今後は学長と経営協議会の学外委員のみで審議する方法に変更することを提案。

以上の提案・説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

(特に質疑応答なし)

(議事4)

● 持続可能性に寄与するキラルノット超物質国際研究所の設置について

(越智学長提案, 安倍理事(学術・社会連携担当)説明, 別紙4)

- ◇ 持続可能性に寄与するキラルノット超物質国際研究所設置構想案のとおり、分子や原子などの自然界を構成する要素の人工類似体を開発し、自然界をより深く理解することにより、「キラルノット超物質」の研究パラダイムを確立することを目的とした、国際頭脳循環のハブとなる国際的な研究環境が整備された国際研究拠点である「持続可能性に寄与するキラルノット超物質国際研究所」を設置することについて提案。

以上の提案・説明があり、審議の結果、原案のとおり承認し、役員会へ付議することとした。

(特に質疑応答なし)

(議事5)

● 令和5年度予算編成の方向性について

(越智学長提案, 俵理事(財務・総務担当)説明, 別紙5)

- ◇ 令和5年度予算編成の方向性について、光熱水費高騰に対応するために必要な予算の確保、大型事業等の成果創出のための職員体制整備にかかる人件費の確保など、課題に対応しつつ、予算編成を行っていくことについて提案。

以上の提案・説明があり、審議の結果、原案のとおり承認し、役員会へ付議することとした。

(特に質疑応答なし)

(議事6)

● 放射線影響研究所広島研究所の霞キャンパス受入れについて

(越智学長提案・説明, 別紙6)

- ◇ 放射線影響研究所広島研究所の霞キャンパス受入れについては、令和2年10月26日付けで、移転に向けた検討依頼があり、令和3年7月20日の教育研究評議会、7月28日の経営協議会及び役員会の承認を経て「受入可」との回答をしている。この度、令和5年1月18日に開催された放射線影響研究所広島研究所の臨時理事会での決定を踏まえ、正式に放射線影響研究所理事長から移転受入依頼があったため、受入れの承諾について提案。

以上の提案・説明があり、審議の結果、原案のとおり承認し、役員会へ付議することとした。

(特に質疑応答なし)

(報告1)

● 広島大学スマートシティ共創コンソーシアムとの共同事業契約について

(金子理事(グローバル化担当) / Town & Gown 構想ステアリングコミッティ座長報告, 資料1)

- ◇ 広島大学と広島大学スマートシティ共創コンソーシアム(以下「共創コンソーシアム」という。)の間に締結した共同事業契約について、本学利益相反相談室(学外及び学内の利益相反アドバイザーから構成)に相談し、利益相反にはあたらないことを確認した旨の報告があった。併せて、共創コンソーシアムから提案される基盤整備案に対して大学側が作為的に変更して調達できるという誤解を生む可能性があるとの指摘があったため、令和4年12月2日開催のTown & Gown 構想ステアリングコミッティにおいて実施体制を見直した旨の報告があった。

(特に質疑応答なし)

以上